

A. 語義類推

★必ず説明が本文中にある！

文脈 ... (1) 具体例 (2) 言い換え (3) 対比 (4) 因果関係

■下線部と解答情報(ヒント)の位置関係は？

要確認

●下線部が**段落冒頭** → 解答の根拠は**段落の最後**が中心

●下線部が**段落中央** → 解答の根拠は**下線部後、段落の最後**が中心

●下線部が**段落末** → 解答の根拠は**下線部の直前**が中心

★およそこんな感じ
であたりをつけて読
むべし！

B. 意見要約

★日本語の指示文も大きなヒント



第1文(冒頭)と特に**最終文(末尾)**に注目！

主題の提示 (主張) → 主題の展開 (根拠) → 主題の再提示 (結論)



＜筆者の主張＞を示す表現いろいろ

- ① should/ must/need/ have to/ ought to/ can 強調のdoなどの助動詞の後
- ② important/ necessary/essential/good/bad などの主観的判断を表す形容詞の後
- ③ I think[suppose, guess, feel]/ I believe/ I'm sure/ I hope[wish]/ In my opinion/ As for me/ As far as I'm concerned/ I like など自分の見解を述べる表現の後
I wonder/ I'm not sure/ It's doubtfulなど懸念を表す表現の後
- ④ 逆接 (but/ however/ yet/ still/ though) の後
- ⑤ in fact/ actually/ indeedなどの副詞(語句)の後
- ⑥ 「例えば」「なぜなら」「第一に」の直前の英文
- ⑦ appear/ seem/ lookの後



極端の法則

次のような極端な修飾語のついた選択肢はほぼ×

「全て」「必ず」「絶対」「唯一」

① 100%系

all, every, any, always, absolutely など

② 0%系

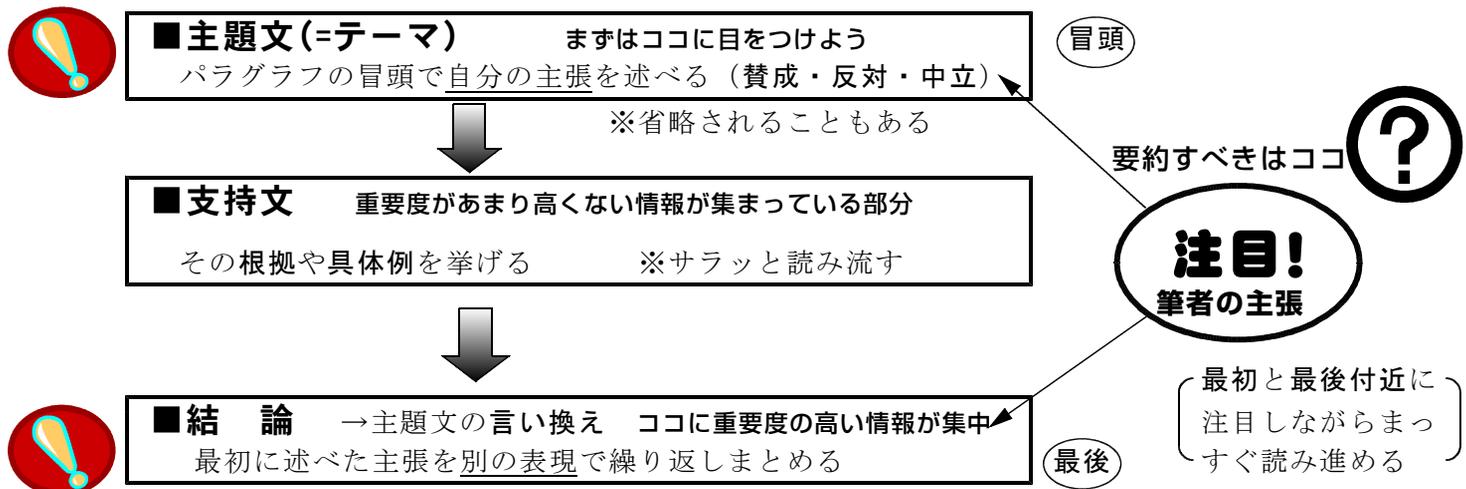
no, never, none, not...any, few / little など

③ 限定系

only, just, merely, simply, alone など

★本文の内容を言い換えているものが○

数量限定



● 発言の「最初+最後付近」に注目するノダ!

C. 文補充

★ 段落内部の観察力が問われる

● まず空所の位置と解き方の基本方針は?

● 空所が段落の最初にある場合

(主題)

後ろを読んでテーマを特定せよ!

★ 空所に入るのは段落全体のテーマ [主題] を提示する文。空所の後の記述をよ〜く読んで、何について述べられているかを判断せよ。

※ 空所が冒頭で、「つなぎ語」なしに次の文が続くときは具体例

● 空所が段落の中位にある場合

(主題の展開)

★ テーマに関する説明の展開部分なので、前文の形態・内容を適切に受け継ぎ、後の文の形態・内容に無理なくつながるものを選ぶ。「そのまま」か「ひっくり返る」のかに注目!

● 空所が段落の最後にある場合

(結論)

次の段落

★ パラグラフ全体のまとめ、結論を提示する文か、前文の形態・内容を適切に受け継ぐ文のどちらかが入る。次の段落への橋渡しも

★ **主題の提示** → **主題の展開** → **主題の再確認** 空所前後 (特に後ろ) の内容がヒント!

文と文のつながりを見抜くことができるか。ヒントは、

全体 → ①この段落は何を言っているか? ②どんなイメージで述べられているか?

部分 → (1) 同じ単語、(2) 代名詞、(3) つなぎ語、(4) 冠詞、(5) 指示語、(6) **抽象** → **具体**

【典拠となる文章は?】 _____

空所 → ①直後の1文目 → ②直後の2文目 → ③直前の1文目 → ④その段落の要旨

④空欄の直後に、「固有名詞」「そこまでの流れ(文脈)とは一見無関係に思える個別的な事例」「数詞(を含む表現)」が現れたら、それらは、直前の空欄部分の内容の具体例であることが多い。***